「授業のチェック及び振り返り」シート

報告様式

所属：（　　　　　　　　　　　　）

氏名：（　　　　　　　　　　　　）

１．「授業のチェック及び振り返り」を実施した授業の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 授業名 |  |
| 科目ナンバリング |  |
| 開講学部・学科・学年 |  |
| 履修者数 |  |
| 年度・学期または実施日 |  |

2．授業のチェック

次の項目のうち、自身の授業で実践している項目に✔を入れましょう。

①予習・復習に関する情報のシラバス記載

* 授業における予習・復習に関する情報を具体的にシラバスに記載している

→学生がどのような学修をどの程度行えばよいかを学生が理解できるように説明していることが重要です。したがって、「授業で学修したことを復習しておくこと」という記載では具体的に記載されているとは言えません。「自学自修を促すための授業ガイドライン」や「シラバス作成ガイドライン」の記入例を参考にして下さい。

②課題

* 具体的に何を学修すべきか、何を問われているのかを明確に示している
* 課題を出す際には課題の目的を説明している
* 学生の力量より少し高めの課題へと段階的に問題をシフトしている
* グループ課題を設けている
* 課題に対してフィードバックを行っている

③授業形態・授業での工夫

* 学修する内容が学生の将来にとって必要であることなどを示し学修への動機づけを行っている
* 資料や教材を授業開始前に配付している
* ほぼ毎回小テストなどで学生の理解度の確認を行っている
* 演習課題を与えている
* 実験実習を行っている
* 発表・ディスカッションを行っている
* プロジェクトや調査を行っている
* 授業や課題にスマホやデジタル教材を活用している
* オフィスアワーなど学生が授業以外の場面で質問することができるように示している
* 学生が授業終了後に「少し難しかった」、「十分に理解できなかった」という理由から学修しなければいけないと感じるレベル設定にしている

④その他

* 学生に授業外学修の振り返りをさせている
* 過去の授業評価アンケートなどの結果から学生の授業外学修に関する取り組みを紹介している

３．自身の授業実践を振り返り、次の項目を記述しましょう

|  |
| --- |
| １．学生の自学自修を促すために実践したこと（具体的に） |
|  |
| ２．実践の成果（学生の学修成果の向上に有効的であったこと） |
|  |
| ３．実践の課題（学生の学修成果の向上に繋がらなかったことや阻害したこと） |
|  |
| ４．次年度の授業で改善すること |
|  |